

法案

性的暴行「連

ハワイ州議「法案明記文：

セクション 1. 本法案提出の目的は、ハワイ州憲法第 I 「を改正し、性的暴行罪となる連「行」の具体的行「を議「が定義できるようにすること、及び、ハワイ州刑法を改正し、法的に行「を定義できることを規定すること。

セクション 2. ハワイ州憲法第 I 「を改正し、以下の規定項目を新たに追加する。

"性的暴行罪

第 _____ 項. 性的暴行罪となる連「行」の具体的行「を議「は定義できる。"

セクション 3. 投票用紙に記載される質問は以下の通り。：

"性的暴行罪となる連「行」の具体的行「を議「が定義できることを規定するためにハワイ州憲法を改正すべきか"

セクション 4. ハワイ州改定法チャプタ「707 を改定し、以下の規定項目を新たに追加する。：

"- 14 「以下の未成年者に「する連「的な性的暴行. (1) 以下の場合には、14 「以下の未成年者に「する連「的な性的暴行罪となる。：

(a) 14 以下の未成年者と同居、または、頻繁に接

(b) 14 以下の未成年者と長期間に渡り 3 回以上の性交または性的接

(2) 本項に準じて有罪とするためには、事 の審理者が陪審の場合には、所定の行 が 生じたことに限定して陪審全員の同意があればよい；所定の行 容に する陪審全員の一致がなくともよい。

(3) 本項に準じた場合には、同一被害者の凶 性犯罪に する複 の告訴ができないものとする。但し、本項に準じて告訴された犯罪であっても、時間 を超えている他の犯罪や、本項とは 係のない他の犯罪が認められる場合には、本項に準じた告訴とは別の告訴とすることができる。本項に準じた場合には、被告人の訴因は一件に限定して告訴されるが、被害者が二人以上の場合には、各被害者に する個別の訴因を基に告訴ができる。

(4) 14 以下の未成年者に する連 的な性的暴行は、A 級の重罪となる。"

セクション 5. ハワイ州改定法 項 707-733.5 は 止する。

~~["{-733.5} 14 以下の未成年者に する連 的な性的暴行 (1) 以下に該 する全ての者：~~

~~(a) 14 以下の未成年者と同居、または、頻繁に接 がある者~~

~~(b) 14 以下の未成年者と長期間に渡り 3 回以上の性交または性的接 がある者~~

~~上記に該 する全ての者は、14 以下の未成年者に する連 的性的暴行罪で有罪となる。~~

~~(2) 本項に準じて有罪とするためには、事 の審理者が陪審の場合には、所定の行 が 生じたことに限定して陪審全員の同意があればよい；所定の行 容に する陪審全員の一致がなくともよい。~~

~~(3) 本項に準じた場合には、同一被害者の凶 性犯罪に する複 の告訴ができないものとする。但し、本項に準じて告訴された犯罪があっても、時間 を超えている他の犯罪や、本項とは 係のない他の犯罪が認められる場合には、本項に準じた告訴とは別の告訴とすることができる。本項に準じた場合には、被告人~~

~~の訴因は一軒に限定して告訴されるが、被害者が二人以上の場合には、各被害者に「する個別の訴因を基に告訴できる。~~

~~(4) 14 「以下の未成年者に「する連「的な性的暴行は、A級の重罪となる。」]~~

セクション 6. この法律は、「「日以前に期限「了となった「利や義務、「「日以前の「罰、「「日以前に開始となった訴訟に影響を及ぼすものではない。

セクション 7. 「止「容は括弧で括り削除する。新たに制定される憲法及び法規定に「しては、下線を引く。

セクション 8. この法律は、承認を受けた時点から有「となる。； 但し、ハワイ州憲法第 2 項から第 I 「で提案された改正事項は、ハワイ州憲法第 XVII 「第 3 項に準じて有「となる。； 第 4 項及び第 5 項は、この法律で提案された憲法改正の批准時点から有「となる。

2843

(上院法案 No.) S.B. NO. ■ S.D. 1

H.D. 2

法案

ハワイ州憲法第 I 「 改正案提出

ハワイ州議「 法案明記文:

セクション 1. 本法案提出の目的は、ハワイ州憲法第 I 「 を改正し、以下の「容を規定することである。:

(1) 「童に「する性犯罪及び特定の性犯罪に「して過去において有罪となった者及び今後有罪となる可能

性のある者に「する登」情報を「民が知る」利を持つ。;

(2) 議「は、公開登」情報の具体的な犯罪を特定する;

(3) 議「は、公開登」情報を特定する。;

(4) 議「は、登」情報の公開方法を特定する。;

(5) 議「は、有罪を受けた者の登」情報公開終了申請の期間及び「件を特定。

セクション 2. ハワイ州憲法第 I 「を改正し、以下の規定項目を新たに追加する。

「童に」する性犯罪及び特定の性犯罪において有罪となった者に」する公開情報

第 _____ 項. 「童に」する性犯罪及び特定の性犯罪に」する有罪者に」する登」情報を「民が知る」利を持つ。また、本項に適用する犯罪、公開登」情報、登」情報公開方法、有罪者の登」情報公開終了申請の期間及び「件を議」は特定する。"

セクション 3. 投票用紙に記載される質問は以下の通り。:

"ハワイ州憲法を改定し、「童に」する性犯罪及び特定の性犯罪に「する有罪者に」する登」情報を「民が知る」利を持つべきか、また、本規定に適用する犯罪、公開登」情報、登」情報公開方法、有罪者の登」情報公開終了申請の期間及び「件を議」は特定すべきか"

セクション 4. 新たに制定される憲法規定に「して下線を引く。

セクション 5. 本改正「項は、ハワイ州憲法第 XVII 「第 3 項に準じて有「となる。

S.B. NO. 2846

S.D. 1

法案

ハワイ州憲法第 I 第 14 項の改正案提出

ハワイ州議 法案明記文：

セクション 1. 本法案の目的は、ハワイ州憲法第 I 第 14 項の改正案を提出し、犯罪被害申立人とその 師、精神科、カウンセラ、メンタルヘルス 門家との間の秘匿特 付機密情報の不承認規定立法を議 が通過できるようにすることである。

セクション 2. ハワイ州憲法第 I 第 14 項を以下のように改正する。

"被告人の 利

第 14 項 全ての刑事訴追において、被告人は、犯罪の行われた地域、法律により予め確定された地域、又は被告人の同意を得て訴追が移された地域の公正な陪審による迅速かつ公開による裁判を受ける 利、起訴の 容および理由について情報を えられる 利、犯罪被害申立人とその 師、精神科、カウンセラ、メンタルヘルス 門家との間の秘匿特 付機密情報に し、議 による不承認規定立法制定を 件として、自己にとって不利益な証人との 審を求める 利 [;]、自己に有利な証言を得るための 制的手 きを有する 利、並びに自己防衛のために弁護人の援助を受ける 利を有するものとする。重罪の場合の陪審員の は 12 名とする。州は、懲役刑が相 とされる無資力の犯罪被告人に して、弁護人を提供するものとする。"

セクション 3. 投票用紙に記載される質問は以下の通り。：

“犯罪被害申立人とその「師、精神科」、カウンセラ「、メンタルヘルス」門家との間の秘匿特「付機密情報に」して議「が不承認規定立法を制定できるようにハワイ州憲法を改正すべきか”

セクション 4. 「止される憲法規定は括弧で括り、削除する。新たに追加される規定に」しては下線を引く。

セクション 5. 本改正「項は、ハワイ州憲法第 X V I I 「 3 項に準じて有」となる。

2851

(上院法案) S.B. NO. S.D. 1

法案

ハワイ州憲法第 I 「 の改正案提出

ハワイ州議「 法案明記文：

セクション 1. 本法案の目的は、ハワイ州憲法第 I 「 第 10 項を改正し、州議「が規定する手「き及び」件に基づき、罪「明記の」察「局者又は司法長官の署名入り起訴」を提出することにより、「察」局者及び司法長官が重罪の訴追手「きを開始できるようにすることである。

セクション 2. ハワイ州憲法第 I 「 第 10 項を以下のように改正する。

"起訴、予審、起訴「

一事不審理、自己負罪

第 10 項 いかなる者も、大陪審の告「又は起訴、又は法に基づいて開かれた予審による相「な理由認定[;]、又は議「が定める」件及び手「きに基づく」察「

局者の署名入り起訴「」の提出がない限り、死刑を科される罪又は懲役刑の科される破廉恥罪について責めを負わないものとする。ただし、「」又は公共の危害に際して現に軍務に服している者が犯した陸海空軍「」の事件はこの限りではない。いかなる者も、同一犯罪について重ねて刑事責任を問われないものとする。またいかなる者も、刑事事件において自己に不利な証人となることを「」制されないものとする。"

セクション 3. 投票用紙に記載される質問は以下の通り。：

"州議「」が規定する手「」き及び「」件に基づき、罪「」明記の「」察「」局者の署名入り起訴「」を提出することにより、「」察「」局者が重罪の訴追手「」きを開始できるようにするため、訴追手「」き開始に「」するハワイ州の憲法規定を改正すべきか"

セクション 4. 「」止される憲法規定は括弧で括り、削除する。新たに追加される規定に「」しては下線を引く。

セクション 5. 本改正「」項は、ハワイ州憲法第 X V I I 「」3 項に準じて有「」となる。

